

実施教員	所属	作業療法学科
	職・氏名	准教授 松尾 彰久

テーマ	車いすから考えるユニバーサルデザイン		
実施目標 (高校生に何を学んでもらうか等)	車いすを実際に利用することから見えてくる「障がい」、「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」 本講座では、「障がい」、特に体の不自由な人々に対する理解を深め、身の回りの環境に対する新しい視点を身につける。		
授業内容の要旨	<p>普段何気なく生活している環境も、車いすを使ってみるとバリアだけである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすを利用する人が障がい者なのか？ 「障がい」とはどのように考えればよいのか？ ・車いすを利用しても暮らしやすくする工夫には、どのようなものがあるのか？ <p>実際の車いす体験を含め、身の回りの環境について考えていく。</p>		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	演習
対象人数	20人程度		
必要機材	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター	<input checked="" type="checkbox"/> スクリーン	<input checked="" type="checkbox"/> パソコン (パワーポイント)
	OHP	その他(車いす)	特になし
実施に当たっての その他留意事項等	動きやすい服装で参加してください。		